

【設問Ⅱ-2】 次の2設問（Ⅱ-2-1、Ⅱ-2-2）のうち1設問を選び解答せよ。（解答設問番号を明記し、答案用紙2枚以内にまとめよ。）

年次	Ⅱ-2-1	Ⅱ-2-2
H30	<p>環境影響評価法に定める第一種事業に当たる道路事業が計画されており、計画段階環境配慮書（以下、「配慮書」という）の手続きを行う必要がある。あなたは配慮作成の責任者として手続きを行うに当たり、以下の問いに答えよ。</p> <p>（1）計画段階配慮事項として「生態系」を選定した場合において、その調査、予測及び評価の手法を選定し、各手法の概要を説明せよ。</p> <p>（2）この道路事業の位置等に関する複数案を2つ設定し、各案の相違点が明確になるように留意し、各案の概要を説明せよ。</p> <p>（3）（2）で設定した複数案ごとに、（1）で選定した手法による予測・評価結果を説明せよ。</p>	<p>環境影響評価法に定める第一種事業に当たる風力発電所の建設事業が計画されている。対象事業実施区域近傍には集落や、自然公園が存在している。本事業における、環境への影響に関する調査・予測及び保全措置の検討を行うに当たり、以下の問いに答えよ。（本設問では、供用時の環境影響に係る事項を対象とする。）</p> <p>（1）この事業の具体的内容と地域の状況を設定し説明せよ。また、それを踏まえて、この事業において環境影響を及ぼす要因と影響を受ける環境要素の項目（以下、環境項目という）を2つ挙げ、想定される環境影響の概要を説明せよ。ただし、近傍に集落及び自然公園が存在することを踏まえた環境項目を1つずつ挙げること。</p> <p>（2）（1）で挙げた2つの環境項目について、本事業で適切な調査・予測及び評価の手法について述べよ。</p>
H29	<p>環境影響評価法に定める第一種事業に当たる建設事業が計画されており、あなたは担当者として、この事業に関する方法書以降の手続きに係る環境影響評価を行うこととなったが、以下の問いに答えよ。なお、環境保全措置については複数案の比較を通じて検討した結果、回避、低減、代償の措置が取られることとなった。</p> <p>（1）あなたが想定した建設事業の概要と、その事業が実施される地域の状況を具体的に述べよ。</p> <p>（2）（1）で述べた地域の状況との関連性を踏まえ、この事業による環境影響を想定して、影響要因及び影響を受ける環境要素の項目（以下「環境項目」という。）を3つ挙げよ。また、それらを選定した理由を併せて述べよ。</p> <p>（3）（2）で選定した環境項目から2つ選び、実施することが適切であると考えられる環境保全措置の内容を説明せよ。ただし、1つ目の環境項目は回避・低減措置の内容を、2つ目は代償措置の内容を説明せよ。このうち、代償措置については、当該措置をとるに当たって行った複数案の比較検討の内容を説明せよ。</p>	<p>歴史的建造物が残されている地方都市の中心市街地において、その建造物を地域固有の景観資源として活用したまちづくりに取り組みこととなったことを踏まえ、以下の問いに答えよ。</p> <p>（1）あなたが想定した、歴史的建造物を具体的に挙げ、その建造物が置かれている状況を述べよ。</p> <p>（2）その歴史的建造物を保全・活用することができる法律や制度の概要を説明し、建造物が置かれている状況に対して、それらの法律や制度を適用する目的を述べよ。</p> <p>（3）（2）で挙げた目的を実現するために、ハード面とソフト面における具体的な対応策をそれぞれ述べよ。</p> <p>（4）（3）で挙げた具体的な対応策を進める際に留意すべき点を述べよ。</p>

年次	II-2-1	II-2-2
H28	<p>山間部において環境影響評価法に定める第一種事業に当たる建設事業が計画されており、あなたは担当者として、この事業に関する方法書以降の手続きに係る環境影響評価を行うこととなった。以下の問いに答えよ。</p> <p>(1) あなたが想定した建設事業の概要・規模と、その事業が実施される地域の状況を具体的に述べよ。</p> <p>(2) (1) で述べた地域の状況との関連性を踏まえ、この事業による環境影響を想定して、下記の【環境要素の区分】①～④のそれぞれに関して重要と考える影響要因及び影響を受ける環境要素の項目（以下、環境項目という）を1つずつ挙げよ。また、それらを選定した理由を合わせて述べよ。なお、本設問では、工事中あるいは事業完了の環境影響を対象とする。</p> <p>(3) (2) で選定した環境項目（4つ）のそれぞれについて、予測結果等から環境影響があると判断される場合に、実施することが適切であると考えられる環境保全措置を1つずつ挙げ、各々の効果を説明せよ。</p> <p>【環境要素の区分】</p> <p>①環境の自然的構成要素の良好な状態の保持（大気環境、水環境、土壌環境・その他の環境）</p> <p>②生物に多様性の確保及び自然環境の体系的保全（動物、植物、生態系）</p> <p>③人と自然との豊かな触れ合い（景観、触れ合い活動の場）</p> <p>④環境への負荷（廃棄物等、温室効果ガス等）</p>	<p>地球温暖化を緩和するため都市レベルで低炭素まちづくりに関する計画を策定することとなった。この計画策定の担当者として業務を進めるに当たり、以下の問いに答えよ。</p> <p>(1) 低炭素まちづくりに貢献できると考えられる「交通・都市構造」、「エネルギー」、「みどり」の3分野のうち2分野について計画策定に当たって盛り込むべき取組を3つずつ概説せよ。</p> <p>(2) (1) で挙げた中から定量的な評価が可能なものを1つ選び、計画の達成状況を評価する手順及び定量的な評価方法を述べよ。</p> <p>(3) (2) の評価に当たって留意すべき点を述べよ。</p>
H27	<p>近年、外来種の拡大が自然環境や人間社会に影響を与えているとの課題がある。あなたが建設事業の責任者として外来種対策を踏まえた業務を推進するに当たり、外来種と建設事業を想定した上で、当該事業に関する以下の問いに答えよ。</p> <p>(1) あなたが想定した外来種と建設事業の概要を述べよ。</p> <p>(2) 想定した建設事業において、外来種が自然環境及び人間社会に及ぼす影響を述べよ。</p> <p>(3) (1) で想定した建設事業の実施に当たり、外来種対策に必要な調査計画内容について述べよ。</p> <p>(4) (1) で想定した建設事業について、具体的な外来種対策を1つ挙げ、その内容を述べよ。また、その対策の実施に当たり留意すべき事項を述べよ。</p>	<p>「環境影響評価法」に定める第一種事業にあたる建設事業が計画されており、工事中の環境影響が懸念されている。この工事中の影響に関する調査・予測及び環境保全措置の検討を行うに当たり、以下の問いに答えよ。（本設問では、工事中の環境影響に係る事項とする。）</p> <p>(1) あなたが想定した建設事業の概要と、その事業が実施される地域の状況を具体的に述べよ。</p> <p>(2) (1) で述べた地域の状況との関連性を踏まえて、この建設事業において環境影響を及ぼす要因と影響を受ける環境要素の項目（以下、環境項目という）を5つ挙げよ。また、あなたが最も重要と考える環境項目をその中から1つ選び、その理由を述べよ。</p> <p>(3) (2) で最も重要であると選んだ環境項目について、調査と予測を行うための手法を述べよ。具体的に、調査事項、調査地域、調査地点及び調査期間、予測の前提条件、予測方法、予測地域・地点及び予測時期について、明記すること。</p> <p>(4) (2) で最も重要であると選んだ環境項目について、実施することが適切と考えられる環境保全措置と見込まれる効果を説明せよ。また、環境保全措置の検討を行う際に留意すべき事項を2つ挙げよ。</p>

年次	II-2-1	II-2-2
H26	<p>山間部を事業実施想定区域とするある建設事業が計画されており、あなたは、この事業に係る計画段階配慮書手続を実施することとなった。建設事業及び、当該事業に関し調査、予測、評価を行う計画段階配慮事項（本設問では、<u>事業完了後</u>の環境影響に係る事項とする。）のうち特に重要と思われるものを1つ想定した上で、当該業務に関する以下の問いに答えよ。</p> <p>(1) あなたが想定した建設事業の概要と計画段階配慮事項を挙げよ。</p> <p>(2) 建設事業の事業特性、事業実施想定区域及びその周辺の地域特性に言及しつつ、(1)で挙げた計画段階配慮事項を選定した理由を述べよ。</p> <p>(3) 事業特性、地域特性を踏まえつつ、(1)で挙げた計画段階配慮事項に係る調査の手法について具体的に説明せよ。</p> <p>(4) (1)で挙げた計画段階配慮事項に係る調査、予測及び評価の結果を、それ以降の建設事業の具体化や環境影響評価手続にどのように反映・活用するのか、反映・活用場面を1つ挙げ、その内容を概説せよ。</p>	<p>公共工事の実施に当たって、自然由来の土壌汚染が確認された。当該工事における土壌汚染対策の責任者として業務を推進するに当たり、以下の問いに答えよ。</p> <p>(1) 想定する事業概要と立地条件及び具体的な土壌汚染の内容について記せ。</p> <p>(2) 本工事においては、近隣に処理事業者や処分場等が無い。この条件下で対策を選定する手順を述べよ。</p> <p>(3) 上記の手順で選定された措置、その選定理由及び実施上の留意事項について述べよ。</p>
H25	<p>ある建設事業によって環境への影響が懸念される区域内に希少種が生育・生息している。あなたは建設環境の技術士として、工事実施に伴う希少種に対する影響を予測し、環境保全措置を検討することになった。建設事業と希少種を1つ想定した上で、当該業務に関する以下の問いに答えよ。</p> <p>(1) あなたが想定した建設事業と希少種を挙げよ。また、想定した建設事業の概要を述べよ。</p> <p>(2) 希少種に及ぼす環境影響として考えらえる項目を2つ挙げ、その内容を希少種の特性との関連から述べよ。</p> <p>(3) (2)で挙げた項目から1つ選び、影響を予測する手法を述べよ。</p> <p>(4) (3)で選定した項目に対して考えられる環境保全措置を1つ挙げ、その内容を述べよ。あ、当該環境保全措置を検討する際に留意すべき事項を1つ挙げよ。</p>	<p>工事における生活環境への影響が懸念される建設事業において、影響についての調査・予測、環境保全措置の検討を行うに当たり、以下の問いに答えよ。</p> <p>(1) 建設事業の内容、及びその建設事業が実施される地域の状況を想定し、具体的に述べよ。</p> <p>(2) 懸念される環境影響について、影響を及ぼす要因及び影響を受ける環境要素（以下、環境項目という）を挙げ、その理由を述べよ。</p> <p>(3) (2)で挙げた環境項目を1つ選び、調査・予測を実施する手順を述べよ。</p> <p>(4) (3)で選んだ環境項目について、実施することが適切と考えられる環境保全措置を説明せよ。</p>